

キラリ★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ!



架空配線にご注意を!! 定期調査で事故を未然に防止!!!

点検対象	工場	点検地区	稚内市
キラリポイント	定期調査で自動車工場に伺った際、屋外メーターで漏電の疑いがある数値を確認しました。その後、屋内分電盤での詳細測定では正常値を示したため、特定の条件で発生し、測定タイミングによって数値が変動する一時的な漏電現象「間欠漏電」の可能性が高いと考えられました。		

現場の状況と対策

まず、測定値が変動する状態を確認していたので何かの断続的な接触不良と推測しました。

その後、お客さまに状況をご説明して工場内の配線のキズや変色を確認しました。また、外周が沿岸部・強風という外部条件を考慮し、配線の揺れやすい場所や、建物と接触しそうな箇所を重点的にチェックしました。

結果、工場から事務所へつながる架空配線の事務所側接続部付近の壁面に焦げ跡を発見しました。原因は、稚内の強い潮風にあおられて架空配線が激しく揺れ、壁面との接触が繰り返されたことにより、絶縁保護テープが摩耗・剥離して露出した充電部が壁面と接触（地絡）したことで火花が発生し、壁面の焦げや穴あきが生じたと判断しました。調査後、お客さまご自身で焦げ跡にパテで応急処置をし、露出した充電部はテープ巻きを施して風で壁面に触れないよう隔離されました。



◀ 焼損部



◀ 応急処置後

技術者からのワンポイントアドバイス

今回は局所的な焼損に留まりましたが、これは危険な火災事故予兆と言えます。当該工場は築50年以上の年数が経過しており、漏電を検知して遮断する漏電ブレーカーが未設置でした。火災や感電のリスクが高いため、安全確保の観点から異常を検知して遮断する装置の設置を強く推奨しました。

稚内事業所
松井 裕樹